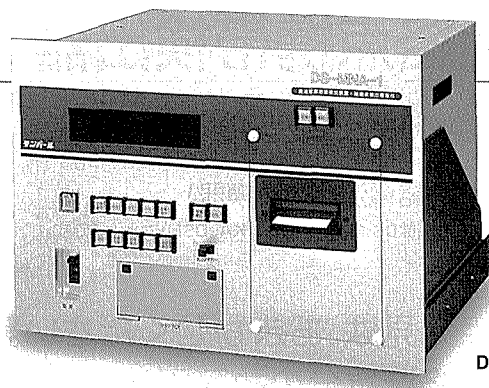


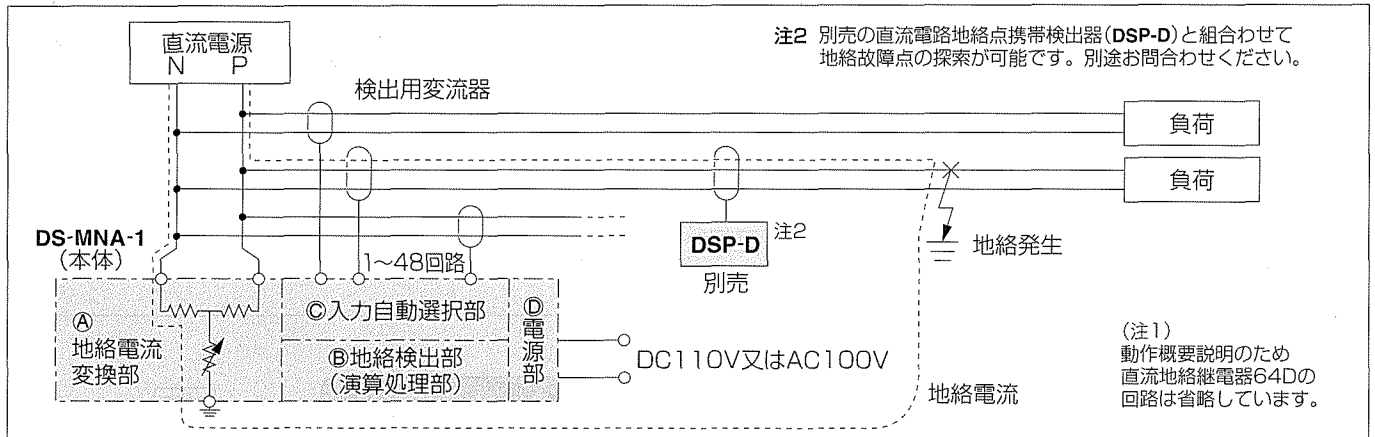


DS-MNA-1

## DS-MNA-1(48回路用)

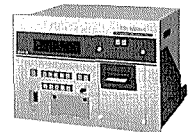
### 動作概要

図のように地絡が発生すると、DS-MNA-1が次の順序でどの分岐回路に地絡が生じているかを検出し表示します。



- ①回路に地絡が発生すると回路に設置されている直流地絡継電器64D(注1)が地絡を検出し、その動作信号を直流電路地絡検出装置(DS-MNA-1)に送ります。
- ②DS-MNA-1が始動すると、同時に64Dの接地を切り離します。  
DS-MNA-1の地絡電流変換部で地絡電流を5Hzの正弦波的脈流を含む直流電流に交換します。
- ③DS-MNA-1の入力自動選択部が回路番号を1秒毎にデジタル表示しながら、変流器からの信号を無接点スイッチで切り替えていきます。
- ④無接点スイッチで選択されて来た信号は、地絡検出部で増幅、フィルタし電路の容量性のものか、地絡による抵抗性のものかを判別するために地絡電流変換部の信号によって同期整流します。信号が判定レベルを超えると地絡回路と判断しその回路番号で停止します。記録の場合は地絡発生時刻、地絡抵抗値、地絡電流値や極性を印字した後、地絡回路にFを印字します。(入力回路の選択は手動でも可能です。)
- ⑤地絡が復旧すると、自動的に初期状態に復帰します。

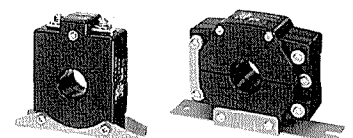
### DS-MNA-1(本体)



| 型式                 | DS-MNA-1                    |                          |
|--------------------|-----------------------------|--------------------------|
| A 地絡電流変換部          | 発振周波数                       | 5Hz(正弦波)                 |
|                    | 地絡電流                        | 最大値4mA(DC110V)           |
| B 地絡検出部<br>(演算処理部) | 地絡レベル                       | 最大表示99                   |
|                    | 地絡検出能力                      | 9.9kΩ(対地静電容量<br>300μF以下) |
| C 入力自動選択部          | 入力数                         | 48(※64)                  |
|                    | 選択時間                        | 1秒/1入力                   |
| D 電源部              | DC110V(AC100V可)             |                          |
| 外形寸法(タテ×ヨコ×フカサ)    | 320×470×330mm(取付金具含<br>383) |                          |
| 重量(kg)             | 17(本体)(取付金具含<br>20)         |                          |

※64回路につきましては別途お問い合わせください。

### 検出用変流器



| 貫通形 | 型式   | S-15 | S-30 | S-40 | S-55 | S-68 |
|-----|------|------|------|------|------|------|
|     | 貫通穴径 | 15   | 30   | 40   | 55   | 68   |

| 分割形 | 型式   | N-18 | N-30 | N-45 | N-65 |
|-----|------|------|------|------|------|
|     | 貫通穴径 | 18   | 30   | 45   | 65   |

- 負荷機器を運転状態のまま検出できます。
- 容量補正により各直流電路の容量性不要出力を読みとり、これをキャンセルしますので地絡検出が正確です。
- 地絡信号を同期整流していますので抵抗性のみ検出できます。
- 対地容量の影響をほとんど受けない5Hzの低周波を使用しますので高度な検出を可能にしています。
- 動作原理上負荷機器への影響はありません。